

「うずらのパイちゃん オリンピックへ挑戦！！」

城南中学校 1年 青木 彩心

うずらのパイちゃん オリンピックへ挑戦！！



15R 51 番 青木 彩心

パイがオリンピックに挑戦したら

飛んだ高さの記録は 5.75m
鳥部門：ほかの鳥はもっと高く飛べるので選外
人間部門：棒高跳びの世界記録（男子） 6.18m で 15 位以内には入れなかった。
世界記録（女子） 5.06m だが、パイは雄のため残念。

走るのは飛ぶ以上に自信のあるパイ
4m 走る記録は 1 秒 41 （少々眠たそうにしている時に無理やりタイム測定を実施）
鳥部門：ダチョウ 70km/h → 19.4m/s → 100m 5 秒 15
パイ 4m 1 秒 41 → 100m 35 秒 25
人間部門：100m（男子） 9 秒 58 パイには歯が立たないことがわかった。
100m（女子） 10 秒 49

パイは逃げ足が早いし、鳴くときに腹筋を使っているのが胸が割れている。また、毎日家の廊下を走らせているのでオリンピックでまあまあの所にいけると思っていた。しかし、調べてみると世界の壁は厳しいことが分かった。私の手のひらに収まってしまふ体の大きさなのに随分と頑張ったのではないのでしょうか。完全に壁かです。

パイの今

うずらのパイが生まれたのは令和 2 年 8 月 8 日である。今、5 ヶ月目に入ろうとしている。生まれた時の体重は 6g → 現在は 148g で約 25 倍の大きさになった。数字だけを見ると大変驚いてしまう。しかし、かわいさは生まれた時より 25 倍どころか遙かに増えていると思っている。

うずらは、本来「ゴキツチョウ（ごぎつちょう）」と鳴くために縁起が良いとされ、戦国時代の武将たちに愛された歴史がある。それに対して、パイは何故か「オッカー」と鳴く。お母さんを知らずに生まれてきて、きっと私を母だと思っているに違いない。そう思うと愛おしくて、パイの人生を私が狂わせたいのだから最期まで愛情を注いで育てようと思う。

野生のうずらは渡り鳥であるが、産卵用のうずらは品種改良をされたものなので、飛ぶには飛べるがコントロールが下手だ。うずらは大変臆病で、パイを小屋の外に出している時に驚いて玄関の吹抜けの天井まで飛んで頭をぶつけてしまったことがある。オリンピックイヤーの為、オリンピックに出場できる記録ではないかと思い調べてみた。



生後 2 時間
体重 6g



現在
体重 148g



正面より

夏休みの自由研究でうずらの卵から、うずらの赤ちゃんをふ化させました。うずらのパイちゃんと名付けて、県への報告も済ませてすくすくと成長しています。友達から「パイは大きくなった？」と質問されるので、今のパイの様子をまとめてみました。また、パイは毎日廊下を走っているの、オリンピック記録と比較してみることにしました。比較しての気づきは、人間の記録がすごいことに改めて気づきました。これは、ただのパイを愛する親ばか記録です。